

正当な対価をもらえる世界に



国内・国家間の不平等の現状

現在、世界の最富裕層の 10%が全世界における所得の **40%**を占めているといわれている。

世界は富裕層に有利な経済や金融システムになり、それは国家間における不平等にも影響を与える。また、保健や教育などの面でも大きな格差が生まれ、さらなる不平等を招いている。

フェアトレード

特に開発途上国では製品を生産しても正当な対価が支払われていなかったり、生産性を上げるために大量に使用した農薬が生産者の体に害を及ぼす事態が起こっている。フェアトレードとは「公平・公正な貿易」の意味であり、開発途上国から製品を**適正な価格で継続的に**輸入するという貿易のしくみのことで、生産者の生活改善・自立をめざしている。

日本でもフェアトレードの商品は数多く販売されており、
2018年には**国内の市場規模は約 124 億**になった。

しかし、イギリスは日本の**約 21 倍**、ドイツは**約 14 倍**の

市場規模を有しており、日本国内では、まだまだフェアトレードの認知度は低い。



いま私たちにできること

いつも買っている商品をフェアトレードのものに変えてみることで、生産者に適切な対価を払うことができる。また、自ら興味を持って世界の不平等の現状を調べてみることは問題解決の第一歩になる。まずは関心を持つこと、同じ地球市民なんだと感じることが人や国の不平等をなくすことにつながっていくだろう。



参考文献

gooddo マガジン

フェアトレードジャパン

日本エンカル推進協議会 フェアトレード海外報告